

2016年11月15日  
生活協同組合コープみらい

～平成28年度千葉県消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業～

## 『食の“もったいない”を考える』

### 講演会&ワークショップ開催

日時：11月22日（火）10:00～15:00

場所：千葉市暮らしのプラザ(千葉市中央区弁天1-25-1)

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、持続可能な社会の形成に積極的に参画する消費者を育成することを目的に、千葉県が実施する「消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業」の受託者として、11月22日（火）10時より、千葉市暮らしのプラザ（千葉市中央区弁天1-25-1）にて、千葉県にお住まいの50名を対象に、食品ロスについて学ぶ『食の“もったいない”を考える』講演会&ワークショップを開催いたします。

昨今、食べられるはずなのに捨てられてしまう食品(=食品ロス)は年間約632万トン※にのぼると言われており、社会問題となっております。 ※農林水産省「食品ロスの現状平成25年度推計値」より

『食の“もったいない”を考える』講演会&ワークショップでは、食品ロス問題を身近に感じていただくため、ご家庭で眠っている缶詰やレトルト食品を持ち寄り、なぜ食品ロスが発生するのか話し合い、余らせてしまう食材の活用方法を考えていただきます。

前半は、規格外食品や余った食品を、児童養護・母子支援・障害者支援等の福祉施設などに寄付するフードバンク活動に取り組むセカンドハーベスト・ジャパン様を講師として招き、食品ロスの現状をお話いただくとともに、参加者同士で“家庭でできること”を話し合ってください。

後半は、一般社団法人フードサルベージ様にご協力いただき、参加者に持ち寄っていただいたご家庭の“もてあましていた食材”をシェフが美味しい料理へと変身させるサルベージ・パーティを行い、食材の大切さや活用方法を知っていただく機会にします。

なお、開催概要につきましては次ページをご参照ください。

#### 《生活協同組合コープみらい 概要》

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
- 【理 事 長】 新井 ちとせ (あらい ちとせ)
- 【組 合 員 数】 333万人 (2016年10月20日現在)
- 【総 事 業 高】 3,803億円 (2015年度)
- 【事業エリア】 千葉県、埼玉県、東京都
- 【ホームページ】 <http://mirai.coopnet.or.jp/>

## 『食の“もったいない”を考える』講演会&ワークショップ 開催概要

1. 日 時 11月22日（火）10：00～15：00
  
2. プログラム **【午前の部】**
  - 10：00 開会の挨拶
  - 10：05～ <講演>セカンドハーベスト・ジャパンの取り組みと現状
  - 10：55～ 分散会&発表**【午後の部】**
  - 12：00～ <講演>（一社）フードサルベージの活動紹介
  - 12：30～ サルベージ・パーティ
    - ・サルベージ・パーティ公認シェフが、参加者が持ち寄った食材を素敵な料理に変身させます。
  - ※午前の部開催中に調理室にて調理を行ない、パーティで提供します。
  - 13：40～ 分散会&発表
  - 14：30～ コープみらい及び千葉県の食品ロス削減の取り組み紹介
  - 14：55 閉会の挨拶
  
3. 会 場 千葉市暮らしのプラザ（千葉市中央区弁天1-25-1）
  
4. プレス受付 千葉市暮らしのプラザ 3階研修講義室
  - ◇午前の部は9:30、午後の部は11：30より受付を開始いたします
  
5. 登 壇 者 

セカンドハーベスト・ジャパン	渉外担当	大竹 正寛 様
一般社団法人フードサルベージ	代表理事	平井 巧 様
サルベージ・パーティ公認シェフ		吉田 舞 様
生活協同組合連合会	コープネット事業連合CSR推進室	宮川 和之
生活協同組合コープみらい千葉県本部	企画・渉外担当課長	渡辺 寧